

宮崎県における労働衛生の現状について（令和3年）

宮崎労働局（確定版）

1. 職業性疾病の発生状況

令和3年における職業性疾病の発生状況は、第1表のとおりである。

県内における職業性疾病による被災者数は283人で、前年同期比で103人(57.2%)増加した。

疾病項目別では、病原体による疾病(新型コロナウイルス感染症144人を含む)が146人(51.6%)で最も多く、次いで、負傷に起因する疾病(腰痛)が57人(20.1%)、負傷に起因する疾病(腰痛以外)が35人(12.4%)、振動障害が20人(7.1%)、異常温度条件下における疾病(熱中症6人を含む)が7人(2.5%)、じん肺及びじん肺合併症が5人(1.8%)となっている。

第1表 職業性疾病の発生状況(令和3年)

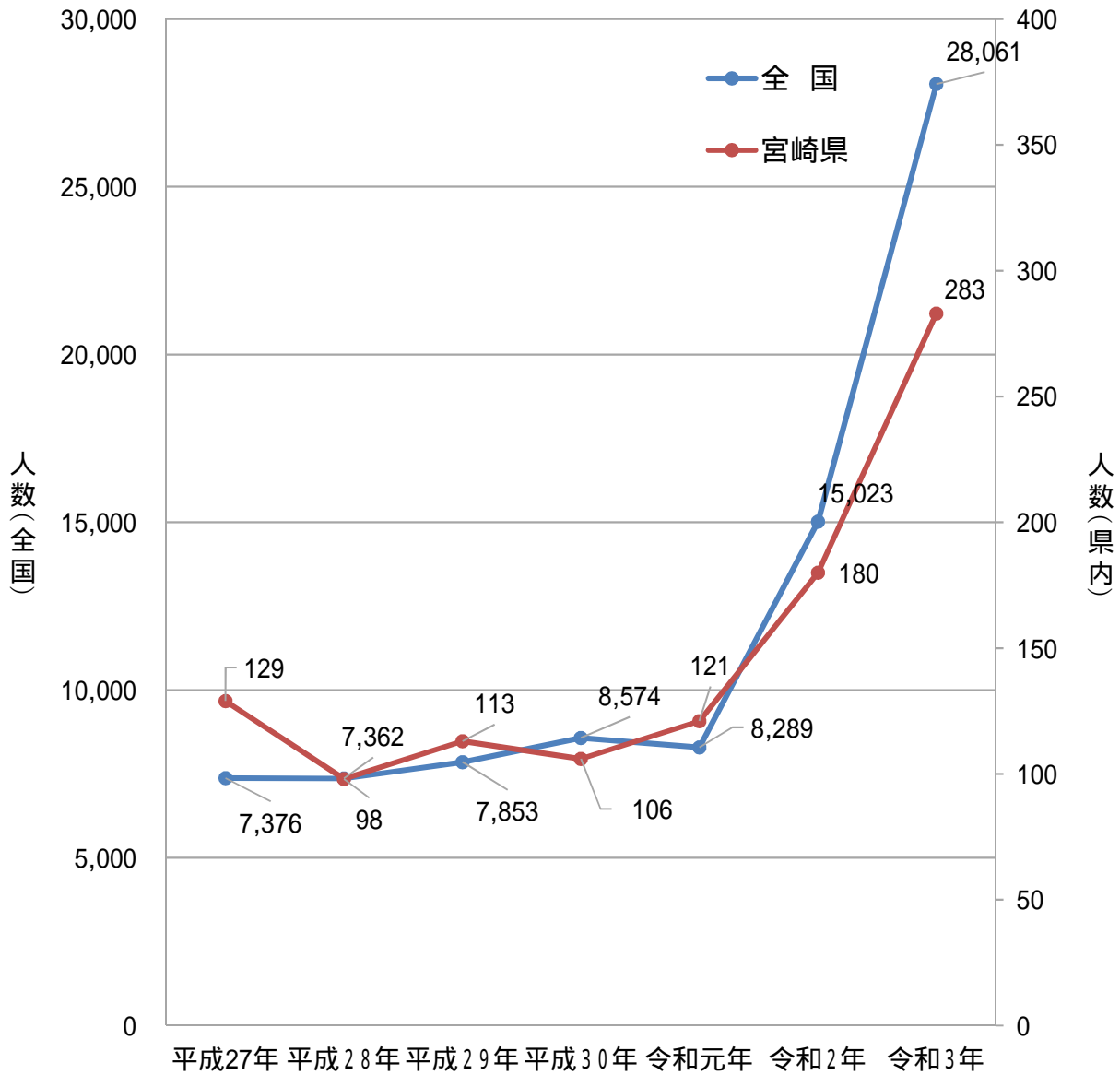
項目	業種											全産業
	製造業	鉱業	建設業	運輸交通業	貨物取扱業	農林水産業	商業・金融・広告業	保健衛生業	接客・娯楽業	清掃・と畜業	左記以外の事業	
負傷に起因する疾病 (うち腰痛)	19 (12)	0	6	6 (3)	1 (1)	11 (3)	15 (10)	27 (24)	5 (4)	1	1	92 (57)
物理的因子による疾病	有害光線による疾病											0
	電離放射線による疾病											0
	異常気圧下における疾病											0
	異常温度条件による疾病	1		1			3	2				7
	騒音による耳の疾病											0
	上記以外の原因による疾病											0
作業態様による疾病	重激業務による疾病											0
	負傷によらない業務上の腰痛											0
	振動障害	3		11			6					20
	手指前腕障害顎肩腕症候群											0
	上記以外の原因による疾病	1										1
化学物質による疾病	2								1	1	4	
じん肺症及びじん肺合併症	2	1	2								5	
病原体による疾病	34		5			1	14	69	14		9	146
がん	電離放射線によるがん											0
	化学物質によるがん											0
	その他の原因によるがん											0
過重な業務による脳血管疾患・心臓疾患等				1								1
強い心理的負荷を伴う業務による精神障害							1					1
その他の業務による明かな疾病	1					1		4				6
合計	63	1	25	7	1	22	32	100	20	2	10	283
(全国)	3,670	25	1,770	1,577	293	250	3,134	14,543	896	562	1,341	28,061

(注) 1 本表は、労働者死傷病報告に基づき作成したものです。ただし、宮崎局の振動障害件数は労災給付データに基づいています。

2 「負傷に起因する疾病」欄内の()は腰痛の内数です。

3 「じん肺症及びじん肺合併症」欄内の数値は、最終粉じん事業場が県内分で、管理4と合併症り患者の合計です。

職業性疾病の発生状況



	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
全国	7,376	7,362	7,853	8,574	8,289	15,023	28,061
宮崎県	129	98	113	106	121	180	283

2. 定期健康診断の実施状況

宮崎県内の事業場(原則労働者数50人以上)から報告のあった労働安全衛生法に基づく定期健康診断の実施状況は、第2表のとおりである。定期健康診断の平均受診率は83.10%、全産業の有所見率は58.09%で、有所見率は前年比で1.37%高くなった。また、全国平均の58.68%を下回った。

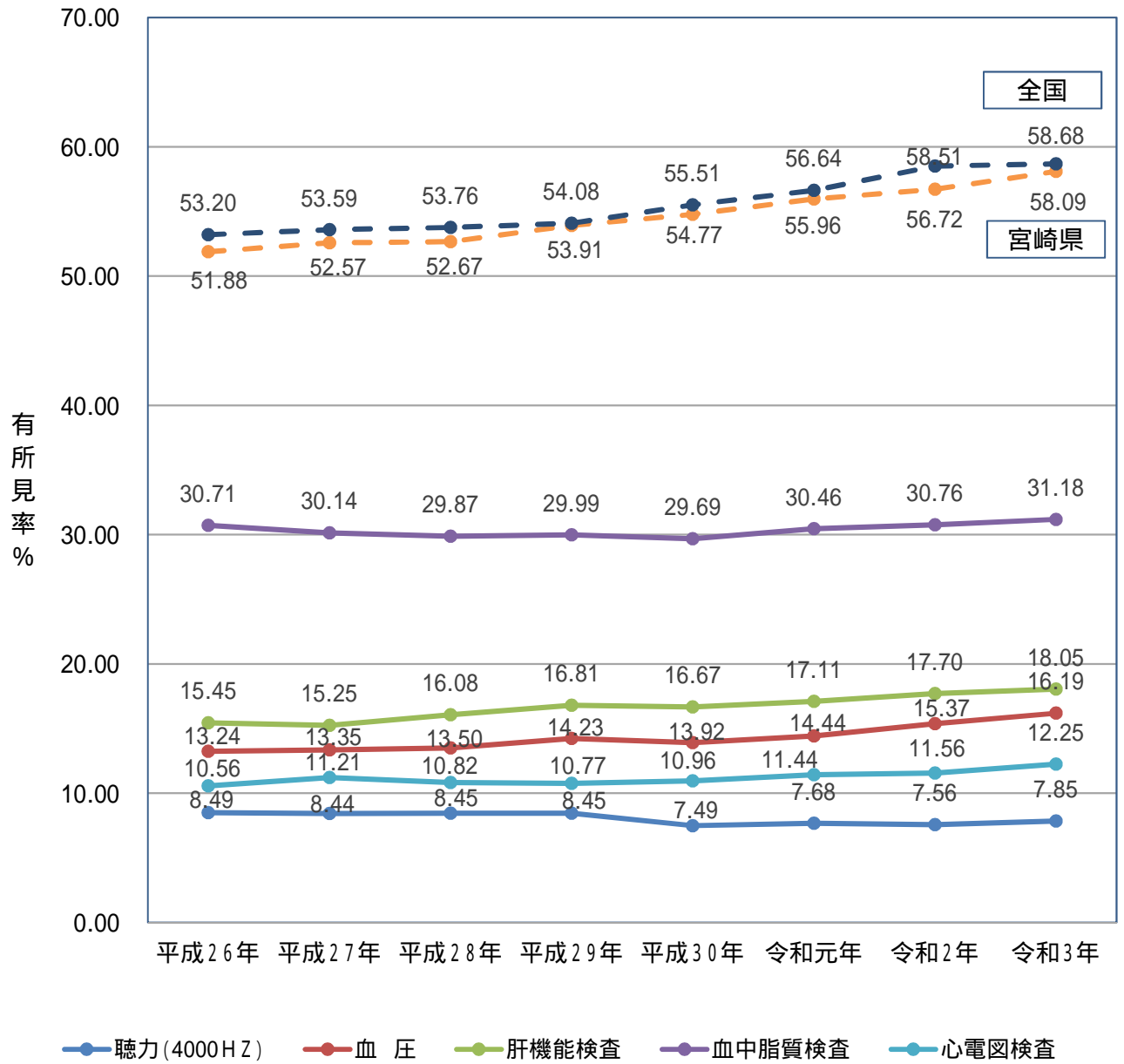
業種別の有所見率は、製造業、建設業、接客娯楽業では全国平均を下回っているが、運輸交通業、農林業、商業、保健衛生業では有所見率が全国平均を上回っている。

主要項目別の有所見の状況は、血中脂質 肝機能 血圧 心電図 血糖の順で有所見率が高く(歯科健診は除く)になっており、これらの項目は「肝機能」を除けば、脳血管疾患及び虚血性心疾患(脳・心臓疾患)の発症と関連が高い検査項目であることから、保健指導、健康教育、運動指導等を通じて有所見項目の改善を図るとともに、症状に応じて労働時間の短縮や配置転換等の就業上の措置を行うことが求められている。

第2表 健康診断実施状況(令和3年)(宮崎県内)

項目	業種										
	製造業	建設業	運輸交通業	農林業	商業	保健衛生業	接客娯楽業	左記以外の事業	全産業計		
健康診断実施事業場	241	33	73	12	122	216	39	191	927		
受診者数	28,505	3,145	5,283	653	8,333	22,150	1,652	19,395	89,116		
平均受診率(%)	87.60%	96.50%	93.00%	95.10%	78.10%	79.90%	55.10%	81.90%	83.10%		
特定業務従事労働者数	9,102	59	1,641	3	866	11,737	217	1,456	25,081		
所見のあった人数	14,957	1,816	3,604	433	5,882	12,170	888	12,014	51,764		
宮崎県の有所見率(%)	52.47%	57.74%	68.22%	66.31%	70.59%	54.94%	53.75%	61.94%	58.09%		
全国の有所見率(%)	57.26%	64.72%	66.38%	66.06%	60.77%	54.22%	60.26%	59.50%	58.68%		
医師の指示人数	8,436	853	1,913	253	3,240	5,833	523	6,551	27,602		
項目別有所見者数及び有所見率	聴力(1000HZ)	有所見者数	916	136	353	35	586	742	77	868	3,713
		有所見率(%)	3.25%	4.39%	6.83%	5.37%	7.98%	3.65%	4.70%	4.63%	4.36%
	聴力(4000HZ)	有所見者数	1,707	345	899	109	780	966	109	1,766	6,681
		有所見率(%)	6.06%	11.14%	17.39%	16.72%	10.62%	4.76%	6.65%	9.44%	7.85%
	聴力(その他)	有所見者数	5	0	31	0	2	8	0	29	75
		有所見率(%)	0.82%	0.00%	7.51%	0.00%	0.24%	0.52%	0.00%	2.13%	1.52%
	胸部X線検査	有所見者数	514	80	248	39	460	539	30	791	2,701
		有所見率(%)	1.99%	2.62%	4.90%	6.05%	5.66%	2.86%	1.91%	4.23%	3.30%
	喀痰検査	有所見者数	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		有所見率(%)	0.33%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.12%
	血圧	有所見者数	4,074	518	1,187	174	1,607	3,003	282	3,582	14,427
		有所見率(%)	14.29%	16.47%	22.47%	26.65%	19.28%	13.56%	17.07%	18.47%	16.19%
	貧血検査	有所見者数	1,758	103	220	67	737	1,890	76	1,339	6,190
		有所見率(%)	6.70%	3.83%	4.46%	12.91%	9.47%	9.14%	4.86%	7.40%	7.50%
	肝機能検査	有所見者数	4,367	564	1,161	177	1,458	3,278	261	3,661	14,927
		有所見率(%)	16.82%	19.50%	23.82%	28.83%	18.63%	16.10%	16.58%	19.66%	18.05%
	血中脂質検査	有所見者数	7,461	783	1,808	218	2,798	6,075	444	6,113	25,700
		有所見率(%)	28.68%	27.15%	37.09%	35.50%	35.75%	30.35%	28.19%	32.83%	31.18%
	血糖検査	有所見者数	2,458	317	661	114	1,412	2,149	177	2,617	9,905
		有所見率(%)	9.38%	11.14%	13.59%	18.60%	18.05%	10.76%	11.24%	14.05%	12.00%
	尿検査(糖)	有所見者数	675	101	233	22	197	413	40	635	2,316
		有所見率(%)	2.41%	3.24%	4.42%	3.37%	2.38%	1.89%	2.44%	3.34%	2.64%
	尿検査(蛋白)	有所見者数	851	166	288	39	353	1,031	70	935	3,733
		有所見率(%)	3.04%	5.28%	5.46%	5.97%	4.24%	4.68%	4.24%	4.86%	4.23%
心電図検査	有所見者数	2,614	265	622	67	1,137	2,131	222	2,256	9,314	
	有所見率(%)	10.99%	9.48%	13.19%	11.96%	15.01%	12.60%	14.47%	12.41%	12.25%	
歯科健診	有所見者数	33	0	0	0	1	21	0	9	64	
	有所見率(%)	12.99%	0.00%	0.00%	0.00%	14.29%	11.48%	0.00%	0.00%	9.25%	

定期健康診断における有所見者の推移



項目	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
聴力(4000HZ)	8.49	8.44	8.45	8.45	7.49	7.68	7.56	7.85
血圧	13.24	13.35	13.50	14.23	13.92	14.44	15.37	16.19
肝機能検査	15.45	15.25	16.08	16.81	16.67	17.11	17.70	18.05
血中脂質検査	30.71	30.14	29.87	29.99	29.69	30.46	30.76	31.18
心電図検査	10.56	11.21	10.82	10.77	10.96	11.44	11.56	12.25
有所見率(宮崎県)	51.88	52.57	52.67	53.91	54.77	55.96	56.72	58.09
有所見率(全国)	53.20	53.59	53.76	54.08	55.51	56.64	58.51	58.68

3. 特殊健康診断実施状況

法定の健診における有所見者数は、電離放射線、有機溶剤、特定化学物質の順に多く、有機溶剤、電離放射、石綿については、有所見率が全国平均を上回っている。

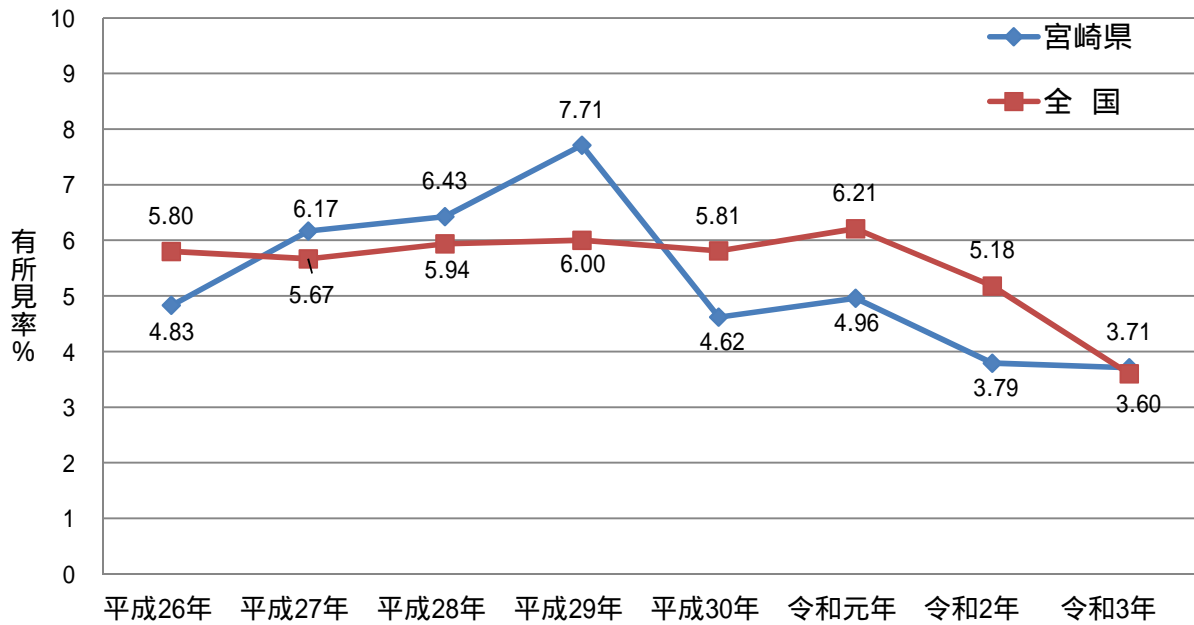
健診の実施率（じん肺は報告率）は、石綿、じん肺、有機溶剤の順に低調であることから、引き続きこれらの有害業務に係る健康管理対策、設備対策、作業環境対策等を図る必要が認められる。

第3表 特殊健康診断実施状況(令和3年) (宮崎県内)

	対 象 事 業 場 数	実 施 事 業 場 数	実 施 率 (%)	対 象 労 働 者 数	受 診 労 働 者 数	有 所 見 者 数	有 所 見 率 (%)	
							県内	全国平均
有機溶剤	368	298	81.0	4,657	4,234	157	3.71	3.60
鉛	20	18	90.0	223	209	1	0.40	1.40
電離放射線	152	144	94.7	2,440	2,421	339	14.00	9.32
特定化学物質	303	263	86.8	6,359	5,989	61	1.02	1.67
高気圧	3	3	100.0	50	50	0	0.00	4.67
石綿	10	7	70.0	138	110	1	0.91	0.80
じん肺	375	273	72.8	3,742	1,865	0	0.00	0.02

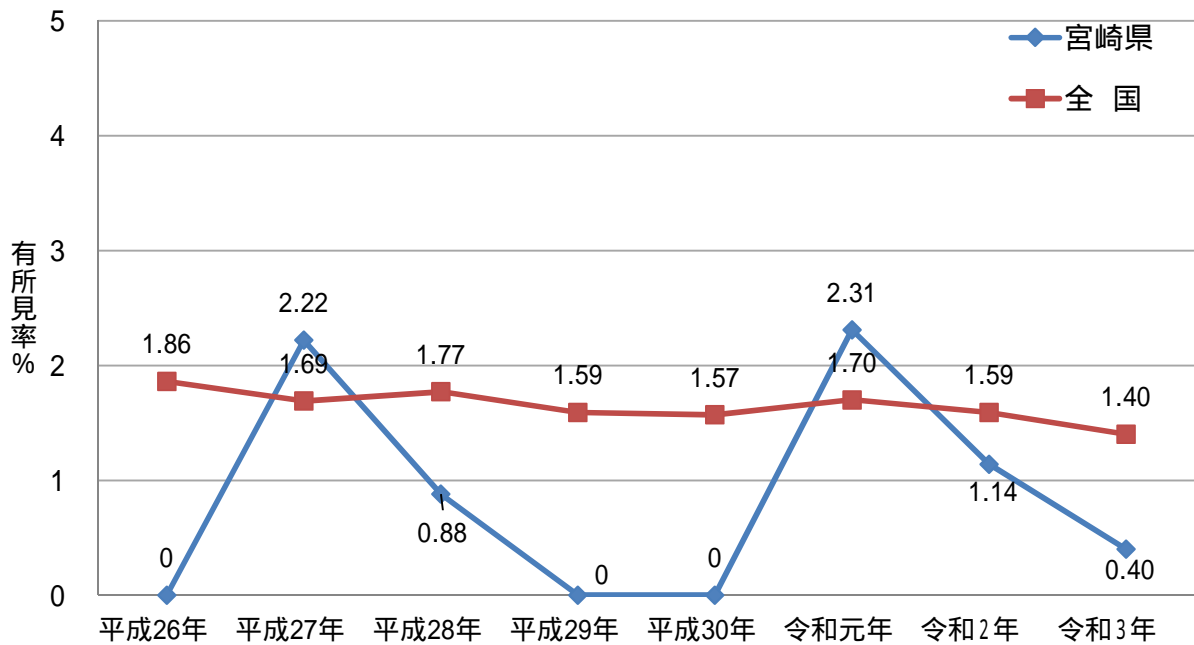
じん肺に関しては、対象事業場数は適用事業場数、実施事業場数は報告事業場数となり実施率ではなく報告率となる。また、じん肺の「有所見者数」は新規有所見者数であり、以前に管理区分の決定を受けている者は除いている。

有機溶剤健康診断における有所見率の推移



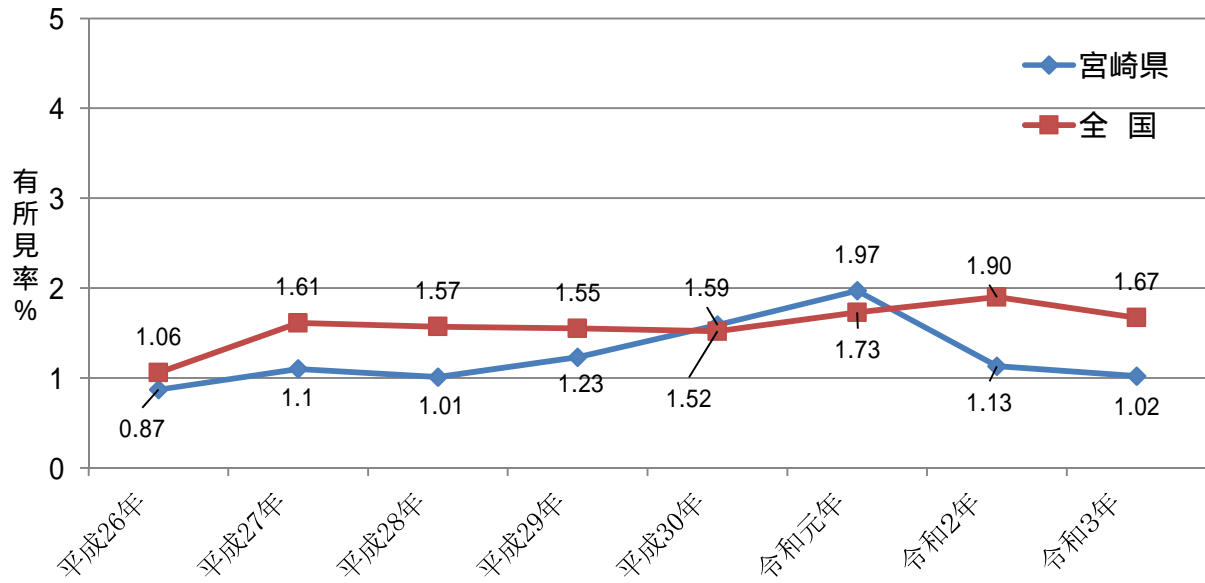
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
宮崎県	4.83	6.17	6.43	7.71	4.62	4.96	3.79	3.71
全国	5.80	5.67	5.94	6.00	5.81	6.21	5.18	3.60

鉛健康診断における有所見率の推移



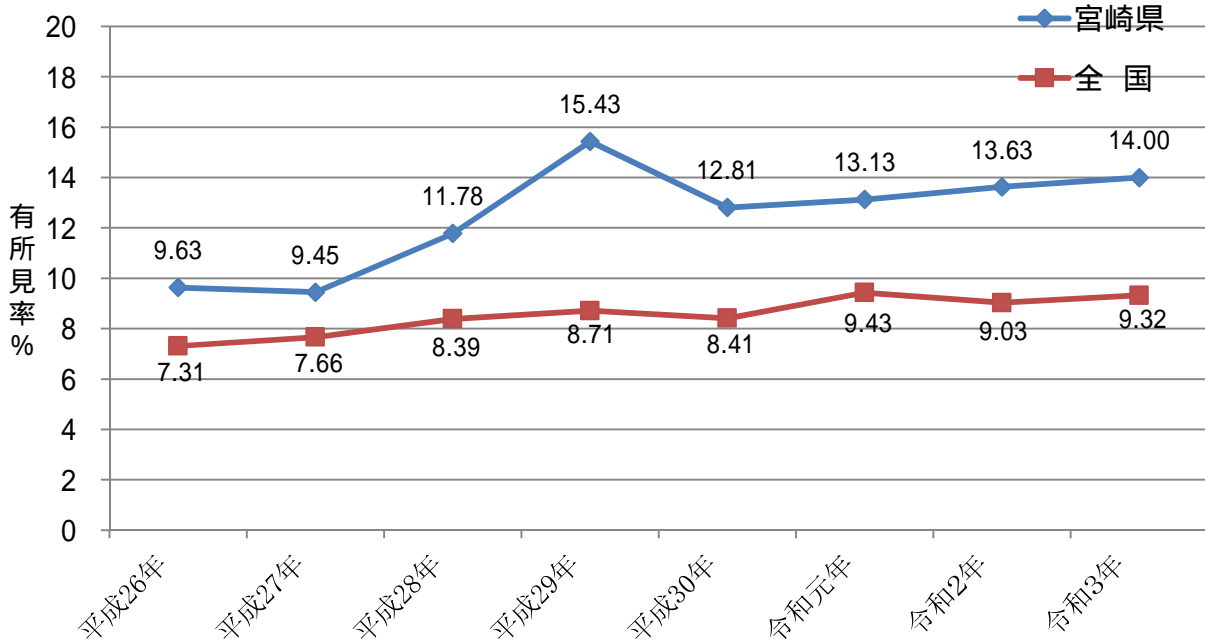
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
宮崎県	0	2.22	0.88	0	0	2.31	1.14	0.40
全国	1.86	1.69	1.77	1.59	1.57	1.70	1.59	1.40

特定化学物質健康診断における有所見率の推移



	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
宮崎県	0.87	1.1	1.01	1.23	1.59	1.97	1.13	1.02
全国	1.06	1.61	1.57	1.55	1.52	1.73	1.90	1.67

電離放射線健康診断における有所見率の推移



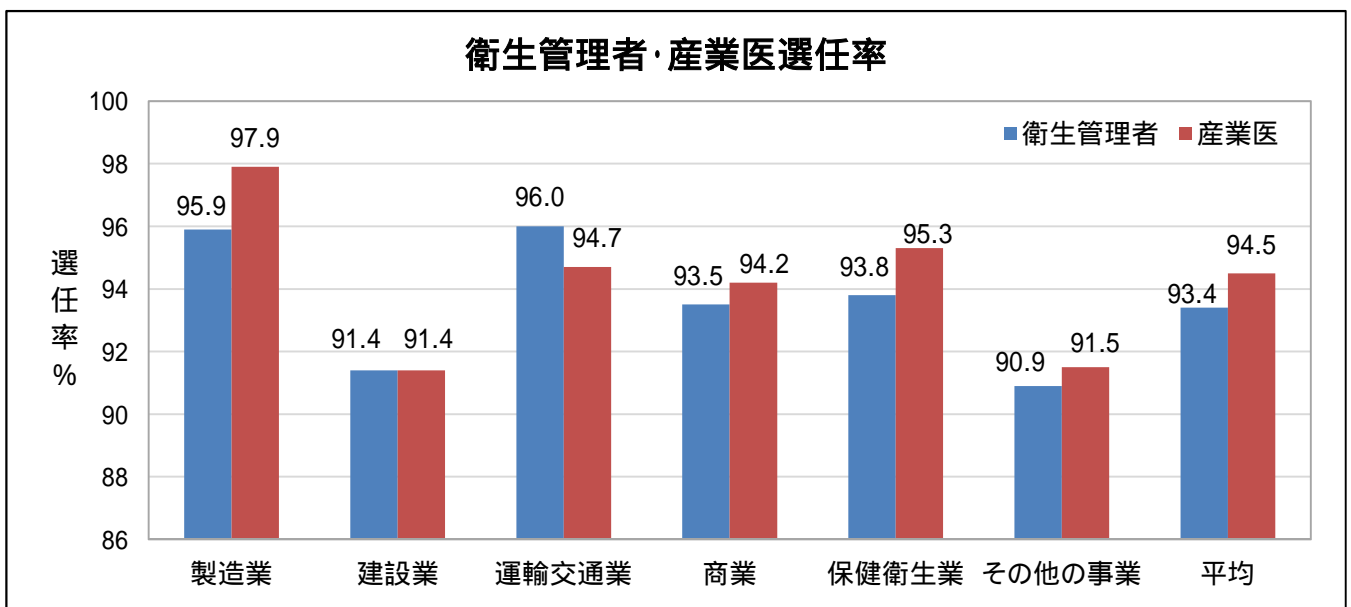
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
宮崎県	9.63	9.45	11.78	15.43	12.81	13.13	13.63	14.00
全国	7.31	7.66	8.39	8.71	8.41	9.43	9.03	9.32

4. 産業医及び衛生管理者の選任状況

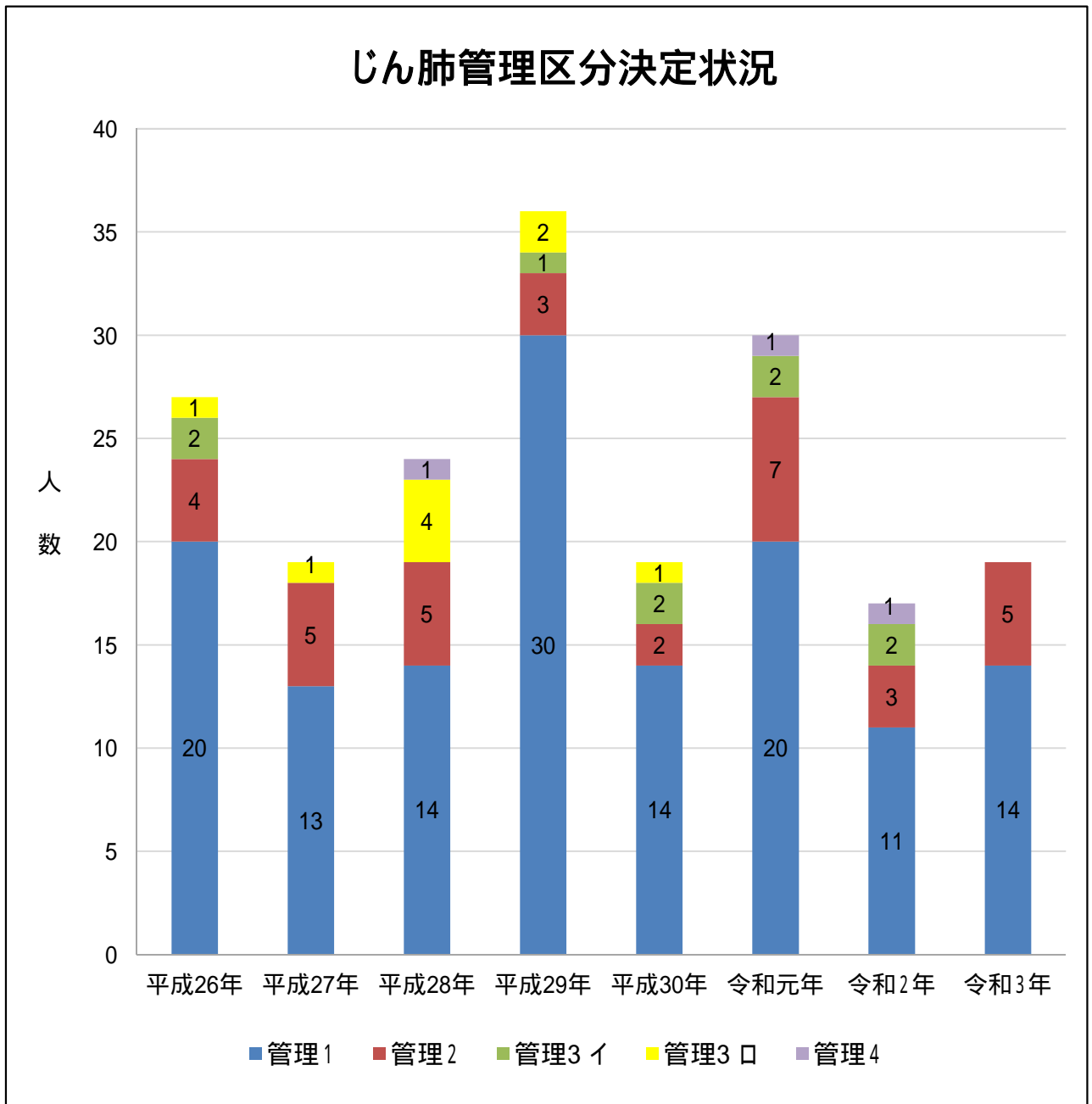
労働者数50人以上の事業場における衛生管理者及び産業医の選任状況は第4表のとおりである。
 衛生管理者の選任率を業種別に見ると、運輸交通業(96.0%)が最も高く、次いで、製造業(95.9%)、保健衛生業(93.8%)、商業(93.5%)、建設業(91.4%)の順となっている。
 産業医については、製造業(97.9%)、保健衛生業(95.3%)、運輸交通業(94.7%)、商業(94.2%)、建設業(91.4%)の順となっている。
 建設業と商業が、他業種と比較して衛生管理者・産業医の選任率が低い状況にある。
 全国平均と比較すると、衛生管理者・産業医の選任率はやや高い。

第4表 産業医及び衛生管理者選任状況(令和3年12月末日現在)

業種		製造業	建設業	運輸交通業	商業	保健衛生業	左記以外の事業	全産業計	全国計
要選任事業場数 (規模50人以上)		241	35	76	138	258	317	1,065	154,425
衛生管理者	選任事業場数	231	32	73	129	242	288	995	138,978
	選任率(%)	95.9%	91.4%	96.0%	93.5%	93.8%	90.9%	93.4%	90.0%
産業医	選任事業場数	236	32	72	130	246	290	1006	141,099
	選任率(%)	97.9%	91.4%	94.7%	94.2%	95.3%	91.5%	94.5%	91.4%



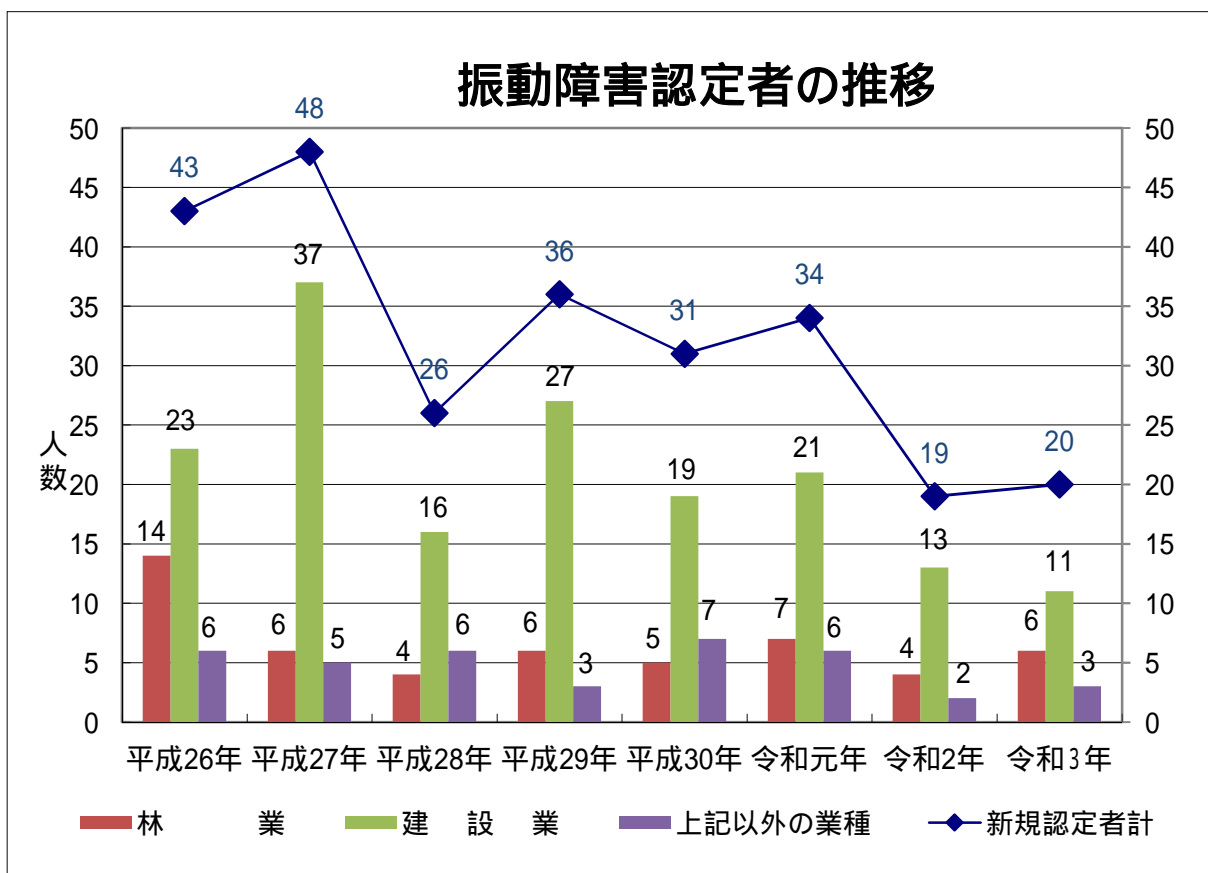
5. じん肺管理区分決定状況



	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
管理1	20	13	14	30	14	20	11	14
管理2	4	5	5	3	2	7	3	5
管理3イ	2	0	0	1	2	2	2	0
管理3ロ	1	1	4	2	1	0	0	0
管理4	0	0	1	0	0	1	1	0
計	27	19	24	36	19	30	17	19

6. 振動障害認定者の発生状況

令和3年の振動障害認定者数は20人で、業種別では建設業の割合が高い。



振動障害の新規認定者数

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
新規認定者計	43	48	26	36	31	34	19	20
林業	14	6	4	6	5	7	4	6
建設業	23	37	16	27	19	21	13	11
上記以外の業種	6	5	6	3	7	6	2	3

振動工具使用事業場数及び従事者数等

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
事業場数 (チェーンソー)	141	131	143	139	140	151	156	159
事業場数 (チェーンソー以外)	43	39	42	58	31	38	38	34
対象者数 (チェーンソー)	907	955	1,173	1,032	1,039	1,032	1,013	1,096
対象者数 (チェーンソー以外)	179	153	244	247	175	320	328	206
受診者数 (チェーンソー)	354	441	557	450	563	673	572	669
受診者数 (チェーンソー以外)	58	29	90	86	56	161	168	75
有所見者数 (チェーンソー)	39	74	52	34	61	122	39	53
有所見者数 (チェーンソー以外)	6	5	23	1	3	35	6	2

* 特殊健康診断実施状況報告に基づく数値。